

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	全学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18038	1	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	栄養学総論 (General theory of Nutrition)				
担当教員名	神田 裕子				
授業の概要及び到達目標					
<p>栄養とは生物が活動、成長、増殖のために外界から必要な物質を取り込み、生命を維持していく現象である。したがって、栄養学総論では栄養素の摂取、消化、吸収、代謝、排泄および防御機構等、幅広い分野について学習し、理解ができることを到達目標とする。講義では、栄養学の定義である「人体と食物の相互作用を明らかにする学問」について解説し、現在の日本の疾病の状況、食生活の実態を報告する。次に、栄養の歴史、栄養状態の判定、空腹と食欲について学ぶ。これらの知識をもとに栄養素である糖質、脂質、タンパク質、無機質、ビタミンについてその栄養学的機能、消化・吸収・代謝、食事摂取基準、欠乏症等について講義する。</p>					
準備学習等					
<p>1年生前期「生物Ⅱ」、「生物Ⅰ」、「化学Ⅱ」、「化学Ⅰ」、「体のはたらきと仕組みⅠ・Ⅱ」の基本的事項について十分復習し、理解をしておくこと。 毎回予習と復習をしっかりと組みながら、授業には参加してください。特に、復習に重点をおき学習しましょう。</p>					
成績評価の方法	学期末試験 80% (課題レポート含む)、授業態度・授業への取り組み状況および出席状況 20%				
テキスト	看護学科・・・医歯薬出版「健康と医療福祉のための栄養学」渡邊早苗、寺本房子、土屋昌広、神田裕子、田中弥生他著 医療情報学科・・・「未定」				
参考図書	<p>「時間栄養学」香川靖雄著 女子栄養大学出版 「人体栄養素の基礎 (管理栄養士講座) 山本茂編著 建帛社 「栄養学原論」渡辺昌著 南江堂、「栄養療法がわかる! できる!」泉野浩生著 羊土社、「重症患者の治療の本質は栄養管理にあった!」真弓俊彦著 羊土社、「高齢者の栄養はじめの一步」大村健二編 羊土社、「栄養食事療法必携 第3版」中村丁字編著 医歯薬出版株式会社、「栄養食事療法の実習第11版」栄養ケアマレジメント 本田桂子編 医歯薬出版株式会社 「腎臓病食品交換表第9版」黒川清監修 医歯薬出版株式会社 一食献立による調理実習 25 第2版」永嶋久美子著 医歯薬出版株式会社 その他は、授業中に紹介・指示します。</p>				

備 考	<p>最新情報は、授業の中で随時紹介する。</p> <p>再履修を希望する場合は、必ず在籍する学科の授業を履修すること。</p> <p>授業の進捗度、理解度により変更になる場合があります。</p> <p>看護学科に関しては専門性を考慮し、外部講師を2回招聘する予定です。</p> <p>オフィスアワーは、適時、授業中および授業後に教室等で受け付ける。</p> <p>卒業認定と学位授与方針と該当授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</p>
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養の意義と栄養学の目的 2. 食品と栄養一食品の種類、食品の栄養素、調理と加工 3. 栄養素の栄養的役割①炭水化物、脂質 4. 栄養素の栄養的役割②タンパク質、アミノ酸 5. 栄養素の栄養的役割③ビタミン、ミネラル、水について 6. 消化と吸収について 7. エネルギー代謝等について 8. ライフステージと栄養①母性栄養、乳幼児、学童期、思春期 9. ライフステージと栄養②成人期、更年期、老年期 10. 生体内の物質交換①代謝のあらまし、酵素などについて 11. 生体内の物質交換②3大栄養素の代謝について 12. 疾病の予防と治療における栄養の役割 13. 栄養と健康①一わが国の栄養と健康状態の推移、栄養評価 14. 栄養と健康②一食事摂取基準等について 15. まとめ <p>*使用するテキストや授業内容もそれぞれの学科により異なります。</p>	